小学校　体育科　授業案

１　薬物乱用の害と健康

２　本時の目標

・薬物乱用は、１回の乱用でも死に至ることがあり、１回だけと思って使い始めても止められ

なくなり、心身の健康に深刻な影響を及ぼすことを理解できるようにする。

・薬物乱用について、それらの害や心身への影響を考え、それを説明できるようにする。

３　展開　　　　　　　　：ねらい　　　　　　：学習内容　　　　　　　：発問・指示など

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 主な学習内容・学習活動 | ○指導上の留意点　◆評価 |
| 導  入  ５  分 | １　薬物についてのクイズを行う。  　薬物についてのクイズをします。  １　１回１錠飲むかぜ薬を早く治すために一度にたくさん飲んだ  ２　法律で禁止されている薬物を使用することは、１回だけなら乱用と言わない  ３　どんな薬物でも使用するのは個人の自由なので問題ない  　答えは「〇」でしょうか。「×」でしょうか。  〈予想される反応〉  ・一度にたくさん薬を飲むのは、だめだと思う。  ・１回だけなら「乱用」と言わないのではないか。  ・危険な薬物もあるからだめだと思う。 | ○アンケートフォームを活用し、薬物についてのクイズを行うことで、本時の学習への意欲付けを図るとともに、法律で禁止されている薬物を使用することは、１回だけでも乱用であることなどを理解できるようにする。  【ICTの活用例】  ・アンケートフォームを活用し、児童の回答を学級全体で共有する。  本時の学習につながるクイズをすることで、学習に興味・関心を持たせるとともに、学級全体で回答を共有することにより、誤った認識があることに気付くようにさせます。 |
| 展  開  30  分 | 薬物の乱用による心や体への害を知り、友達に説明できるようにしよう。  ２　「薬物乱用」という言葉を知る。  ・法律で禁止されている薬物を使ったり、病気を治す目的以外で薬を使ったりすることを「薬物乱用」という。  ３　乱用される薬物について知る。  例　シンナー　大麻　覚醒剤  この中で知っている、又は聞いたことのある薬物はありますか？  〈予想される反応〉  ・シンナーと大麻は聞いたことがある。  ・覚醒剤で逮捕されたというニュースを聞いたことがある。  ４　大麻事犯における20歳未満の検挙人員のグラフから、気が付くことを考える。  このグラフを見て気が付くことはありますか？  〈予想される反応〉  ・20歳未満の検挙人員はどんどん増えている。  ５　教科書の資料などを参考に、薬物乱用の心や体への害を調べる。  ・シンナーや大麻の心身への害について  薬物を乱用すると心や体にどんな害があるのでしょうか。  〈予想される反応〉  ・シンナーを使用すると歯がぼろぼろになる。  ・大麻を使用すると、幻覚や妄想が起こる。  ・心や体に悪い影響があるようだ。  ６　教科書の資料などを参考に、薬物乱用が厳しく禁止されている理由を考える。  ・薬物乱用の悪循環  ・薬物乱用者の症状や問題行動  薬物乱用はどうして法律で禁止されているのでしょうか。  〈予想される反応〉  ・やめられなくなって、健康に悪いから。  ・犯罪に走ると、他の人に迷惑をかけるから。  ・交通事故を起こすと危ないから。 | ○法律で禁止されている薬物などを使ったり、病気を治す目的以外で薬を使ったりすることを、「薬物乱用」ということを押さえる。  ○知っている、又は聞いたことのある薬物を確認し、乱用される薬物には様々な種類があることを押さえる。  ○20歳未満の大麻事犯が増えていることに気付かせるとともに、増えている原因として、簡単に手に入る現状があることについて説明する。  ○シンナーなどの有機溶剤や、大麻の乱用によって、急性影響、依存症など心身への影響があることを理解できるようにする。  ○シンナーや大麻の他にも、覚醒剤、ヘロインなど様々な薬物があり、１回の乱用でも死ぬことがあることを知らせる。  ○覚醒剤をはじめとする薬物の乱用は、乱用者本人の精神や身体の健康を害するだけではなく、薬物乱用による交通事故や薬物に起因する犯罪など、社会全体に悪影響を及ぼすことから、法律で厳しく規制されていることに触れる。 |
| ま  と  め  10  分 | ７　学習のまとめをする。  ・シンナーや覚醒剤などの薬物は、１回の乱用でも死に至ることがあり、１回だけと思って使い始めても、止められなくなり、心や体の健康に深刻な影響を及ぼす。  ・シンナーや大麻、覚醒剤などの薬物乱用は法律で禁止されている。  ８　学習したことを基に、「未来の自分にどんな言葉をかけるか」というアドバイスを考える。    未来のあなたに向かってどんな言葉をかけますか？今日学習したことを活かしてアドバイスをしてあげましょう。  〈予想される反応〉  ・１回だけと思って使い始めても止められなくなってしまうから、絶対にしない方がいいよ。  ・法律で禁止されている危険な薬物かもしれないからやめた方がいいよ。  ・薬物乱用について、それらの害や心身への影響から、勧められても乱用しない。  ・困ったら信頼できる周りの大人に相談する。  ９　本時の学習を振り返る。    困ったことがあったら、なるべく早く周りの信頼できる大人に相談することを伝えるようにします。児童の実態に応じて発展的な内容として、「オーバードーズ」のスライドを扱うことも可能です。 | ◆【知識】  薬物乱用は、１回の乱用でも死に至ることがあり、１回だけと思って使い始めても止められなくなり、心身の健康に深刻な影響を及ぼすことや、法律で禁止されていることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。（観察・ワークシート）  ○学習したことを基に、自分の考えをまとめさせた後、3～4人のグループで、意見を出し合い、お互いの意見を比較しながら考えをまとめ、発表させる。  【ICTの活用例】  ・授業支援システムを使って、各グループの意見を学級全体で共有する。  友達の意見を聞いて、自分の考えに新たな視点が生まれたり、考えが深まったりしたことをワークシートの「つけたし」に記入するよう助言します。    ◆【思考・判断・表現】  薬物乱用について、それらの害や心身への影響について考えたことをワークシートに書いたり、友達に説明したりしている。  　（観察・ワークシート）  ○薬物を勧められても、絶対に手を出してはいけないこと、困ったことがあったら、早く信頼できる周りの大人に相談することなどを伝える。  〇薬物乱用のきっかけとして、不安などの心の状態によるものも考えられるため、心の健康の学習との関連を図る。 |